

# 株式会社 明光ネットワークジャパン

## 2020年8月期 第2四半期 決算説明

代表取締役社長

山下一仁

2020年4月10日

# 2020年8月期(第36期)第2四半期 業績報告

# 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2020.8期2Q 実績	前年同期比		計画比**		
		増減額	増減率	計画値	増減額	増減率
売上高	10,422	+329	+ 3.3%	10,600	△177	△ 1.7%
営業利益	1,280	△266	△ 17.2%	1,070	+210	+19.7%
経常利益	1,384	△223	△ 13.9%	1,130	+254	+22.5%
四半期純利益*	791	△179	△ 18.5%	590	+201	+34.2%

\* 親会社株主に帰属する四半期純利益（以下のスライドでも同様）

\*\* 2019年10月10日発表の業績予想

- ・前年同期比：【売上高】KMG子会社化による増収 【利益】人件費・経費等の増加による減益
- ・計画比：【売上高】生徒数減により若干未達 【利益】経費コントロールと投資の期ズレによりプラス

- ・明光義塾  
(2020年2月末時点)
  - 【教室数】**1,932教室**（前年同期比 △88教室）  
(直営 △8教室 ケイライン +1教室 FC △81教室) ※MAXIS・KMGは±0教室
  - 【生徒数】**112,064名**（前年同期比 △5,240名）  
(明光直営 15,070名 MAXIS 7,078名 ケイライン 2,598名 KMG 2,228名  
FC 85,090名)

※MAXISエデュケーション (MAXIS と表記)、ケイ・エム・ジーコーポレーション (KMG と表記)

# 第2四半期 決算概要 (連結P/L)

(単位：百万円)

	2019.8期	2020.8期	前年同期比	
	2Q	2Q	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>10,092</b>	<b>10,422</b>	<b>329</b>	<b>+3.3%</b>
<b>売上原価</b>	<b>6,590</b>	<b>7,143</b>	<b>553</b>	<b>+8.4%</b>
売上原価率(%)	65.3%	68.5%		+3.2pt
<b>売上総利益</b>	<b>3,501</b>	<b>3,278</b>	<b>△223</b>	<b>△6.4%</b>
売上高総利益率(%)	34.7%	31.5%		△3.2pt
<b>販売管理費</b>	<b>1,954</b>	<b>1,997</b>	<b>43</b>	<b>+2.2%</b>
販管比率(%)	19.4%	19.2%		△0.2pt
<b>営業利益</b>	<b>1,547</b>	<b>1,280</b>	<b>△266</b>	<b>△17.2%</b>
営業利益率(%)	15.3%	12.3%		△3.0pt
<b>営業外収益</b>	<b>65</b>	<b>109</b>	<b>44</b>	<b>+68.1%</b>
<b>営業外費用</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>+41.7%</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,608</b>	<b>1,384</b>	<b>△223</b>	<b>△13.9%</b>
経常利益率(%)	15.9%	13.3%		△2.6pt
<b>四半期純利益*</b>	<b>971</b>	<b>791</b>	<b>△179</b>	<b>△18.5%</b>
四半期純利益率(%)	9.6%	7.6%		△2.0pt

\* 親会社株主に帰属する四半期純利益

\* KMGの損益計算書は2019.8期3Qより連結

## ■売上高

- ・ KMG子会社化による増加 +460百万円
- ・ 明光NWJ単体 (明光義塾生徒数減少等) △94百万円

## ■売上原価

- ・ 人件費 (原価) +324百万円
  - ┌ KMG子会社化 +197百万円
  - └ 明光NWJ単体 (人員体制強化) +109百万円 等
- ・ 経費 (原価) +168百万円
  - ┌ 支払手数料 (人材紹介手数料・ICT関連) +82百万円
  - ┌ 賃借料 (KMG子会社化等) +53百万円
  - └ 旅費交通費 (KMG子会社化等) +20百万円 等

## ■販売管理費

- ・ 広告宣伝費 (ブランディング費用コントロール) △21百万円
- ・ 人件費 (管理費) (明光NWJ単体人員増、KMG子会社化) +34百万円
- ・ のれん償却額 (KMG子会社化) +12百万円
- ・ 賃借料 (KMG子会社化等) +19百万円

# 第2四半期 決算概要 (連結B/S)

(単位：百万円)

	19.8期末	20.8期 2Q	対前期末	
			増減額	増減率
流動資産	9,734	10,189	+455	+4.7%
有形固定資産	1,220	1,244	+23	+1.9%
無形固定資産	3,311	3,109	△202	△6.1%
投資その他の資産	5,497	5,822	+324	+5.9%
資産合計	19,765	20,366	+601	+3.0%
流動負債	4,506	4,260	△246	△5.5%
固定負債	843	994	+151	+17.9%
負債合計	5,350	5,254	△95	△1.8%
純資産合計	14,414	15,111	+696	+4.8%
負債・純資産合計	19,765	20,366	+601	+3.0%

## ■ 資産の部

(流動資産)

- ・ 現預金の増加 + 416百万円
- ・ 売掛金の減少 △ 276百万円
- ・ 有価証券の増加 + 199百万円
- ・ 貸倒引当金の減少 + 49百万円

(無形固定資産)

- ・ のれんの減少 △ 236百万円

{ MAXIS71百万円、ケイライン29百万円、KMG12百万円、  
 早稲田EDU22百万円、国際人材開発61百万円、古藤事務所37百万円

(投資その他の資産)

- ・ 投資有価証券の増加 + 312百万円 (評価差額金の増減等)

## ■ 負債の部

(流動負債)

- ・ 前受金の減少 △ 361百万円 (日本語学校2校の季節変動等による)
- ・ 未払消費税の増加 + 112百万円

(固定負債)

- ・ 繰延税金負債の増加 + 144百万円 (その他有価証券評価差額金増加による)

## ■ 純資産の部

- ・ その他有価証券評価差額金の増加 + 309百万円

(上場株式時価上昇による)

\* 2019年2月28日付でKMGの貸借対照表を連結 (損益計算書は2019.8期3Qより連結)

# 第2四半期 決算概要（連結C/F）

（単位：百万円）

	2019.8期 2Q	2020.8期 2Q	前年同期比 増減額
営業活動CF	1,903	1,031	△872
投資活動CF	△13	△310	△296
財務活動CF	△453	△404	+49
現金及び現金 同等物の増減	1,435	316	△1,119
期首残高	6,116	7,445	+1,328
四半期末残高	7,552	7,761	+209

## ■営業活動C/F

- ・ 四半期純利益の減少 △223百万円
- ・ 法人税等の支払額の増加 △512百万円

## ■投資活動C/F

- ・ 投資有価証券の取得による支出 △163百万円
- ・ 子会社株式の取得による支出の減少 +227百万円  
※2019.8期2QKMGの株式取得
- ・ 定期預金の増加 △399百万円

## ■財務活動C/F

- ・ 借入れによる収入の減少 △210百万円
- ・ 借入金の返済による支出の減少 +100百万円
- ・ 配当金の支払額の減少 +159百万円

## ■現金及び現金同等物

- ・ 四半期末残高 +209百万円

# セグメント別売上高、営業利益

(単位：百万円)

		明光義塾 直営事業	明光義塾 FC事業	日本語学校 事業※1	その他※2	全社費用	全社合計
2020年 8月期 2Q	売上高 ※3	5,679	2,393	739	1,610	-	10,422
	(前年同期比増減額)	+405	△174	+64	+34	-	+329
	営業利益	672	1,003	116	75	△586	1,280
	(前年同期比増減額)	+14	△180	+10	△71	△39	△266
	売上高対 営業利益率	11.8%	41.9%	15.7%	4.7%	-	12.3%
2019年 8月期 2Q	売上高 ※3	5,273	2,568	674	1,575	-	10,092
	営業利益	657	1,184	105	146	△546	1,547
	売上高対 営業利益率	12.5%	46.1%	15.6%	9.3%	-	15.3%

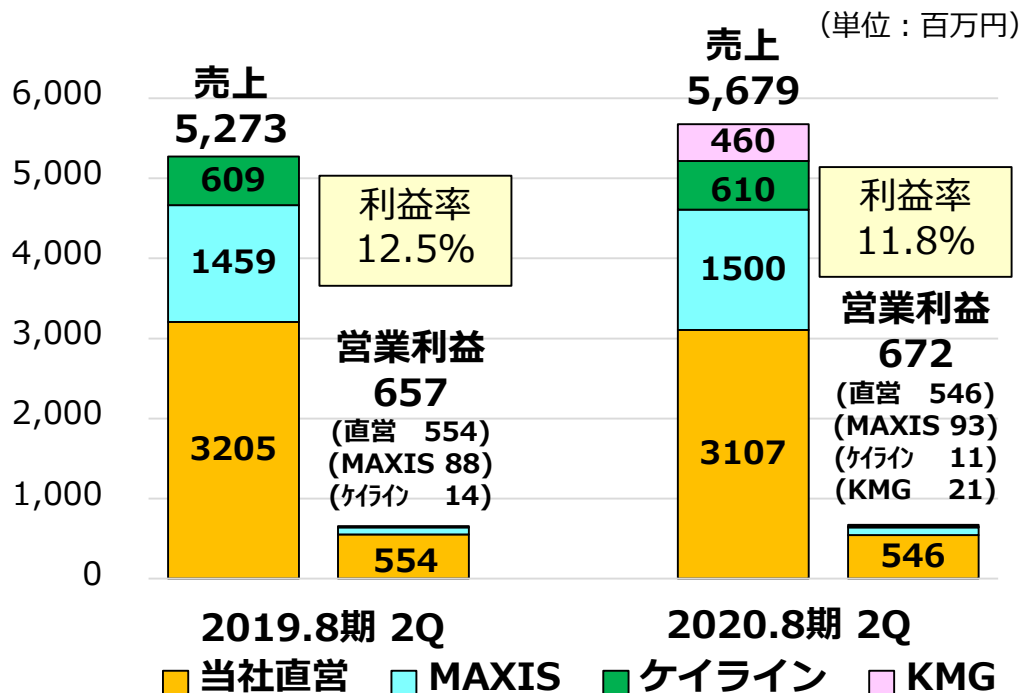
※1 当期より従来「その他」に含めておりました「日本語学校事業」につきまして、相対的な重要性を考慮し、報告セグメントとして記載するとともに、従来、報告セグメントとして開示していた「予備校事業」につきましては、量的な重要性が減少したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

※2 早稲田アカデミー個別進学館事業、キッズ事業、スポーツ事業、連結子会社における事業（古藤事務所、ユーデック、東京医進学院、晃洋書房）等

※3 売上高は内部取引控除後の金額を記載しております。

なお、控除されている内部取引の金額は、明光義塾FC事業 387百万円（前年同期303百万円）、その他事業 51百万円（前年同期 67百万円）となっております。

# 明光義塾直営事業



## ■ 教室数：403教室（前年同期比 36教室増）

- ・ 当社直営：△8 MAXIS：±0 ケイライン：+1 KMG：+43
- ・ KMG子会社化（2019.8期 3Qより P L 連結）による増加

## ■ 売上高 405百万円増

- ・ KMG子会社化による増加 +460百万円
- ・ 当社直営：△98百万円 MAXIS：+41百万円 ケイライン：+1百万円

## ■ 営業利益 14百万円増

- ・ KMG子会社化による増加 +21百万円
- ・ 当社直営：△8百万円 MAXIS：+4百万円・ケイライン：△3百万円

(MAXIS・ケイライン・KMGの費用にはロイヤルティ・のれん償却費を含む)

### 当社直営

(単位：教室、名、千円)

	19.8期 2Q	20.8期 2Q	増減額
教室数（2月末）	231	223	△8
生徒数（期中平均）	15,933	15,536	△397
1教室平均生徒数（期中平均）	68.9	69.6	+0.6
生徒1人当たり売上	201.2	200.0	△1.2

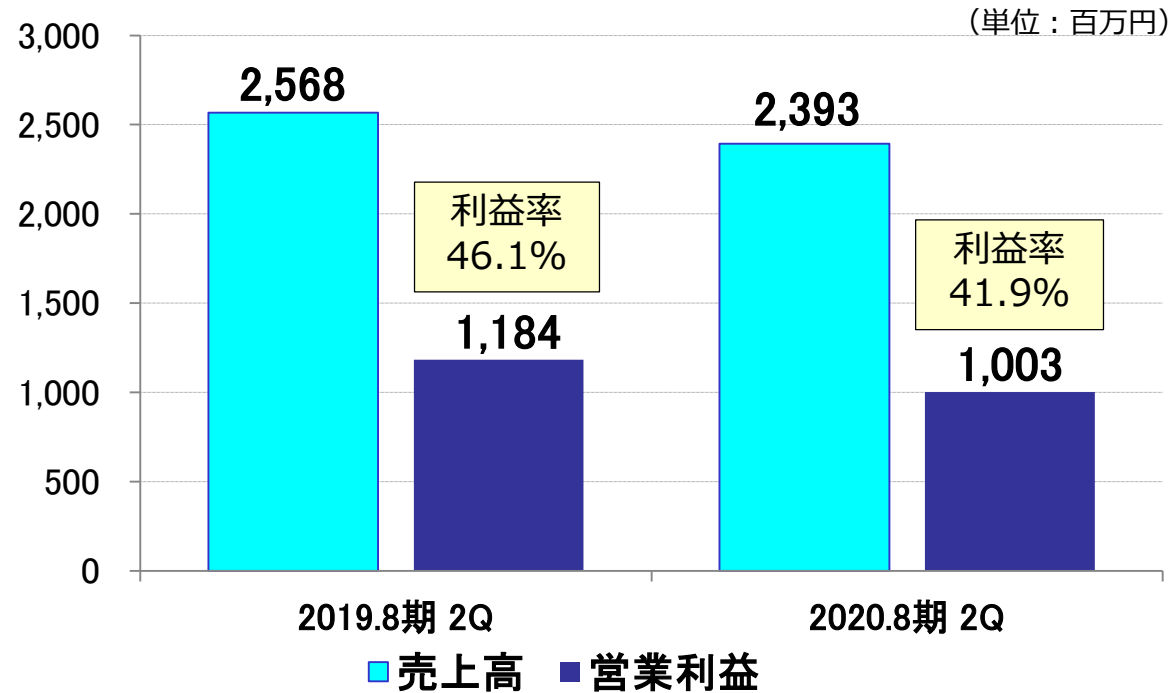
### MAXIS・ケイライン・KMG

(単位：教室、名、千円)

	19.8期2Q MAXIS	20.8期2Q MAXIS	増減額	19.8期2Q ケイライン	20.8期2Q ケイライン	増減額	20.8期2Q KMG
教室数（2月末）	94	94	0	42	43	1	43
生徒数（期中平均）	6,672	7,025	+353	2,791	2,688	△103	2,312
1教室平均生徒数（期中平均）	71.6	76.1	+4.5	66.5	65.0	△1.4	53.8
生徒1人当たり売上	218.7	213.6	△5.1	218.2	227.2	+9.0	199.3



# 明光義塾FC事業



## ■ 教室数：1,529教室 (124教室減)

- ・新設・増設・再開 + 7
- ・直営より譲受 + 4
- ・直営へ譲渡 △ 10
- ・閉鎖・休校・解約 △ 82
- ・KMG子会社化 △ 43

## ■ 売上高 174百万円減

- ・ロイヤルティ収入 △113百万円
- ・契約金売上 △ 33百万円
- ・FC備品売上 △ 19百万円

(単位：教室、名)

FC事業	2019.8期 2Q	2020.8期 2Q	増減率	増減額
教室数 (2月末)	1,653	1,529	-7.5%	△124
生徒数 (期中平均)	95,115	88,407	-7.1%	△6,708
1教室平均生徒数 (期中平均)	57.5	57.8	0.5%	0.3
ロイヤルティ収入 (百万円)	1,651	1,537	-6.9%	△113
1教室平均 // (千円)	997.7	1,004.8	0.7%	7.1

## ■ 営業利益 180百万円減

- ・KMG子会社化及び生徒数の減少等に伴う売上高減少の影響
- ・人員体制強化に伴う人件費増加の影響

# 日本語学校事業・その他事業

(単位：百万円)

		19.8期 2Q	20.8期2Q			
			実績	前年同期比		特記事項 (カッコ内は前年同期比)
				増減額	増減率	
日本語 学校	売上高 (2校計)	674	739	+64	+9.6%	早稲田EDU 生徒数 744名 (+101)
	営業利益 (2校計)	105	116	+10	+10.1%	国際人材開発(JCLI) 生徒数 1,252名 (+21)
その 他 事 業	売上高	1,575	1,610	+34	+2.2%	
	・早稲田アカデミー個別進学館	265	313	+47	+17.9%	校舎数：当社直営13(MAXIS5含む)、早稲アカ直営25、FC10、生徒数：3,918名 (+1,341)
	・キッズ	167	196	+29	+17.4%	スクール数25校、生徒数1,263名 (+254)
	・スポーツ	65	55	△9	△14.9%	スクール数16校 (うちFC1校)、生徒数786名 (△120)
	・古藤事務所	416	438	+21	+5.2%	大学教育関連事業 売上・利益とも計画通り
	・ユーデック	276	254	△21	△7.8%	学内予備校、模擬試験等 模擬試験売上の減少
	・東京医進学院	216	164	△52	△24.1%	校舎数2校 生徒数63名 (△16)
	・晃洋書房	116	121	+5	+4.5%	学術専門書出版事業
	・その他	50	64	+14	+28.9%	スタディクラブ、ESLClub、海外事業ほか
	営業利益	146	75	△71	△48.8%	新規事業 (自立学習RED、tyotto塾、明光キッズe等) への先行投資により減益

※ 売上高は内部取引を控除した金額

※ 校舎数・スクール数・生徒数は2020年2月末時点

# 2020年8月期(第36期) 業績予想・配当予想

# 2020年8月期 業績予想

(単位：百万円)

	2Q (累計)				通期
	計画*	実績	計画対比		計画
売上高	10,600	10,422	△ 177	△1.7%	-
営業利益	1,070	1,280	210	+19.7%	-
経常利益	1,130	1,384	254	+22.5%	-
当期(四半期)純利益	590	791	201	+34.2%	-

## ■ 学習塾事業・スポーツ事業

- ・ 3月2日～3月15日の休講措置（全教室）：新型コロナウイルス感染症の影響
- ・ 4月8日～5月6日の7都府県の休講措置（859教室）：緊急事態宣言に伴う対応
- ・ 顧客行動の変化

⇒ **既存生徒の休会や新規生徒の入会への影響**

## ■ 日本語学校事業

- ・ 4月入学予定の外国人留学生500名超（2校計）

⇒ **入国制限に伴う7月入学へのずれ込みなどの影響**

- 上記の影響を含め、現段階で通期業績予想の算定が困難であるため、今回の予想は未定とさせていただきます、算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

# 2020年8月期 配当予想

		1株当たり配当金			配当性向
		基準日	第2四半期末	期末	
当期	配当予想		15円	30円	94.8%
	配当実績	15円			
前期実績 (2019年8月期)		15円	15円	30円	83.1%

- 2020年8月期の**1株当たり年間配当額**につきましては、**現段階では前年維持の30円**（中間15円、期末15円）、**配当性向は94.8%**を予想しておりますが、新型コロナウイルス感染症及び緊急事態宣言の業績見通しへの影響が判明次第、変更する場合は速やかに開示いたします。

お問い合わせ先

**経営企画部 高橋・小谷野**

TEL : 03 - 5860 - 2112

FAX : 03 - 5332 - 7091

E-mail : [info@meikonetwork.jp](mailto:info@meikonetwork.jp)

WEB : <http://www.meikonet.co.jp/>

本資料は、2020年8月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2020年2月末日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。  
なお今後、予告なしに変更することがあります。